HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	インターネットへようこそ ３ ： マルチメディア講座実践編
Author(s)	高井, 哲彦
Citation	英国ニュースダイジェスト, 505, 12
Issue Date	1995-09-21
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/53057
Type	article
File Information	newsdigest505.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

マルチメディア講座　実践編

インターネットへようこそ

——3——

講師▼高井哲彦

「ユーズネット」とは、ニュースグループと呼ばれるテーマ別会議の記事を交換する分散型のネットワークです。「ニュース」の特徴は、一定メンバーの投稿記事で構成される点ではミニコミといえますが、不特定多数の閲覧に開かれている点ではマスコミであることです。

●生きた情報群

ニュースは、完成された情報データベースではなく、個人が各々の好意と責任によって提供する生きた情報群です。新製品情報などインターネットで手にする最新情報は、むしろこのニュースからの耳学問によるものが多いように思います。

ユーズネットは一九八〇年に米国で生まれ、三年でニュースグループ数が五百に増えました。いま私の手元に三千のリストがありますが、フランス語☆の約七十グループや、日本語☆などの四十カ国を超える非英語圏のグループを含めると、実数は四千に迫るかもしれません。

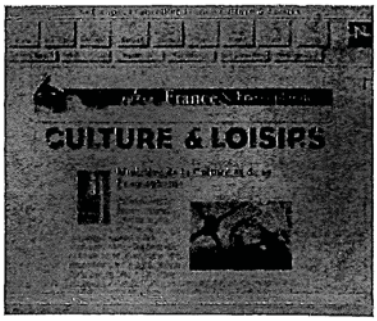
ニュース、インターネットの本来的な分野である科学技術・学術にとどまらず、政治、教養、ビジネス、ゲーム、そしてあらゆる種類の趣味について、ニュースが作られています。たとえばsoc.culture.japanは、日本文化・時事全般をめぐる英語での情報交換の場ですが、その他にもブルガリア、レバノン、タミル民族など、七十近くの国家・民族別の英語ニュースが国境を越えて編成されています。

一九九三年時点では、一日三万件の記事がニュース全体で書き込まれたそうですが、翌年にはさらに倍増しました。

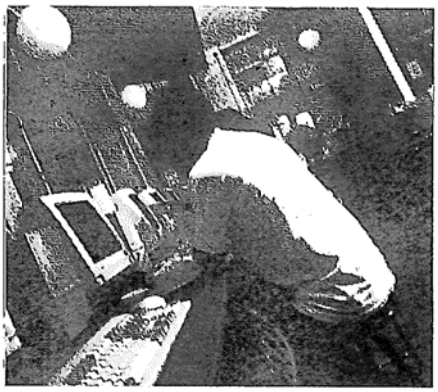
●サイバーネットからの逆流

現在はインターネットに接続されている某ネットワークの図書会議で、あるとき私は、「屈辱」というゲームを描いたイギリスの知識小説を書評したことがあります。「屈辱」は、誰もが読んでいるはずだが自分だけが読んでいない「名著」を告白し、その本をすでに読んでいる人の人数を加算して自らの無教養を競い合うという（自虐的な：）〔注〕心理ゲームです。

私のこの書評が、コミック会議で知らない間に紹介され、コメントがコメントを生み、実際にゲームが大々的に広がったのには驚きました。数え切れないほどのコミック通が一カ月にわたって参加したこの試みは、ネットワーク・ゲームの一例として書籍の世界でも逆紹介され、同時に一風変わったコミック・データベースを完成することにもなりました。



フランス文部省によるフランス語圏向け文化情報サービス。英語中心のインターネットだが、その無国境性は地理的な距離の制約を超え、新しいローカルリズムを生み出しつつある



インターネットにアクセスできるサービスを提供するカフェ「CYBERIA」。必要なコンピューター機器を持っていなくても、気軽にサイバーネットワールドを体験できる。現在、ロンドン市内など英国に3カ所、パリのポンピドーセンター内にもまもなくオープンする
■CYBERIA LONDON, 39 Whitfield Street, London W1P tel 0171-209-0982/0983

ヴァーチャルな社会

ユーズネット・ニュース

●倫理コードは必要か

ユーズネットは、パソコン通信と違って、中央で集中的に管理されているわけではありません。ニュースには、司会者が投稿記事を編集する形式のニュースもありますが、そうでない場合は、内容をコントロールする人はいません。

イギリスやイタリアなどでメディアの寡占化が指摘される昨今ですが、インターネットでは、ニュースグループの拡大とともに、個人がマスメディアに一石を投じる可能性が広がっています。

しかし、他方、アメリカでは、武装民兵組織が挑発・差別発言や爆弾製作マニュアルなどを、インターネットで不特定多数に流布していることが、社会問題になっています。

日本のネットワークでも、実行可能なコンピューター・ウイルスの実物プログラムが「研究事例」として公表された事件や、現代史解釈にからめて部落差別的な発言がなされた議論に、私自身が関わったことがあります。前者の場合は数日にわたる公開討論の末、後者は有志による電子メールでの忠告に即日合意して、発表者自ら発言を取り下げて、紳士的に決着しました。

しかし、確信犯の場合、当事者の所属するシステムの管理者がアクセス登録を抹消する以外に解決策はありません。インターネットに接続された各国の商業パソコン通信の間では倫理規定について議論が行われています。

●「理想郷」の大衆化

人間性善説を前提としたインターネットにおいては、現在でも規則らしき規則は、ニュースグループ改廃に関するくらいのものです。

当初は、「バックボーン」と呼ばれる有力大学・研究機関群の意思が尊重されたようですが、現在では公開討論の後に投票を呼びかけて、「賛成票が反対票より百票以上多く、三分の二以上の投票が賛成票である場合」に、グループ新設が認められる「規則」が作られています。

先日、クリントン米大統領は、情報の安全性確保のための暗号化技術を世界標準として無償提供すると発表しましたが、暗号化を解くカギを米政府が握ることによって、インターネットへの影響力を保つのがこのプロジェクトのもうひとつの目的です。

技術者の理想郷として形成されたユーズネットの共同体は、商業化の波をかぶって巨大な大衆社会に成長しようとしています。

〔注〕ユーズネットで頻繁に使われる感情表現「スマイリー」。不満顔は：^ ウインクは：）など、喜怒哀楽を表すバリエーションも豊か。